

道民と経営支える 2024年度予算へ

共産党道議団、知事に要望

日本共産党道議団は1月29日、2024年度道予算編成に向けて鈴木直道知事に要望書を提出しました。

真下議員は、「長引く物価高騰で道民は厳しい暮らしを強いられている」と強調し、住民福祉の向上に立ち返り、道民の命・暮らしと経営を支える道予算と道政執行へと求めました。



災害対策は充実を / 原発と核ごみは断念を

元旦に発生した能登半島地震被害は甚大な被害となり、防災・避難所の課題が浮き彫りになりました。胆振東部地震を経た道の対策もスフィア基準（被災者への人道援助の国際基準）が全く反映されていないと指摘。道が責任をもって厳寒期の防災対策、女性や高齢者へのケアが反映され安心して避難できる体制が必要と強調しました。

「地震・津波による道路の寸断や志賀原発のトラブルなど、原発の危険性が明らかとなった」のべ、泊原発・核ごみ処分場もあきらめる決断を求めました。

地方路線の維持・存続で地域の足確保

2024年問題といわれる労働時間制限に伴って、物量・交通のドライバー不足によるバスの減便など、地方公共交通の維持・確保に重大な影響を及ぼしています。丸山はるみ道議は、並行在来線が満員になるなどの実態を伝え、地方路線維持対策を強く求めました。

「要望はどれも重要な課題」と答えた鈴木知事に、「道の施策が不十分なため現状の課題がある。効果が見える予算編成へしっかりと事業に反映していただきたい」と要望。また道立江差高看のパワハラ問題で遺族に寄り添った判断となるよう求めました。

誰でも楽しめるパラスポーツ体験会 in 旭川

11日、旭川冬まつりに協賛して道主催「北海道インクルーシブパークin旭川」が開催されました。

ゆっきリンクでピクルストーンカーリング、旭川駅前広場でシットスキーと雪中ボッチャを体験しました。パラスポーツは障害がなくても誰でもできるスポーツとして楽しめます。海外や市外からの観光客も並んで参加、盛況なイベントになりました。



ヒグマとの共生へ 捕獲上限設定

あつれき抑制に不可欠 ハンターの確保求める

道は、ヒグマの人里出没の抑制と捕獲従事者の育成・確保を目的に人里から最大10km周辺で春期管理捕獲にとりくむ市町村に対し、道が1/2を財政補助します。

真下議員は、6日の環境生活委員会ではヒグマとの共生とハンターの確保について質問しました。

共存・共生のため管理捕獲を

昨年管理捕獲にとりくんだのは19自治体、雌クマの捕獲上限154頭に対し20頭を捕獲。今期64市町村が実施意向を示し、広域的实施を行う自治体も複数あると道が答え、捕獲数増加が見込まれます。

真下議員は、不要な捕獲・過剰な捕獲となることなく、ヒグマとの軋轢を抑制しながら共生していくことが重要と強調し、道が絶滅を避けるため捕獲上限数を管理す

ることを確認しました。

また、ハンターの育成や処遇改善を求めた質問にヒグマ対策室長は、「報酬や出勤経費、ハンター保険加入費なども支援対象となる」と答弁。農政部が駆除を依頼する実施隊と遜色ない処遇となることも確認しました。

ハーファイフル規制強化影響重大

国は銃による事件の発生を受け1年目から所持可能なハーファイフルの要件を10年に変更すると表明。道内の銃によるヒグマ捕獲は年間940頭のうち475頭、エゾシカ144,989頭のうち127,712頭です。



道内のハーファイフル銃の所持は国内の約半数を占め、多くがヒグマやエゾシカなど大型野生鳥獣の捕獲に使用されています。現状水準の所持は不可欠といえます。

真下議員は「ヒグマを捕ったことのないハンターもかなりいて、ハンターの確保は危機的な状況です。射程の短い散弾銃では危険が伴い、今回の規制で10年の空白が生まれる可能性を否定できない。ヒグマとの共生には今が重要」と強調し、国の規制に対する実情の反映を強く求めました。

長は、1855年の日魯通行条約によって日露間で国境が確認され、それ以降一度も外貨国の領土となることがない日本固有の領土多様なメディアを活用し国内外へわかりやすく情報発信し、粘り強く取り組むと答えました。

また、中断して1年以上経過した安全操業の再開と再開されるまでの支援を求めました。

ロシアとの領土問題解決へ

歴史的な理解を深め あきらめない運動へ



「北方領土の日」の2月7日、国と道が行った意識調査結果を踏まえ、北方領土対策特別委員会で領土問題解決に向けて質問。「戦争や武力による現状変更は国際法違反。平和的領土確定の歴史の理解を深め、あきらめない運動を展開しよう」と提案しました。中島辰雄北方領土対策局

金成マツノート 道議会図書室にあります

東川町が撮影地となった映画「カムイのうた」、旭川で過ごした知里幸恵の生涯が映画化されました。極寒の北海道に住む先住民アイヌへの差別、名前も言葉も

仕事も奪われていく中、アイヌユーカラを伝えた知里幸恵と叔母の金成マツ。島田歌穂さんが素晴らしいカムイユーカラを謳っています。道議会図書室にはカムイユーカラの訳詞、「金成マツノート」がそろっています。



道議会・道政へのご意見・ご要望をお寄せください。

真下紀子事務所 旭川市3条16丁目左7号 TEL 0166-20-0808 FAX 0166-20-1616 E-mail : m.noriko.office@gmail.com